

# 仏像鑑賞：東京国立博物館訪問【奈良大和四寺のみほとけ(企画展)】

実施日	2019年8月27日(火) 晴れ一時雨	参加者	12名	20190917作成
集合場所	上野・博物館正面玄関前 午前10時集合・入館(時間厳守)。 注 混み合いますので入場券は予め上野駅で購入しておいて下さい。70歳以上の方は無料ですので、証明できるものを持参願います。			
コース(参考)	小田急線町田駅8時29分—快速急行—新百合が丘8時37分—新宿9時8分~17分—JR中央快速(レヅジ色)—神田9時29分~33分—JR上野駅9時38分。			
概要	<p><b>【奈良大和四寺のみほとけ(企画展)】</b>          奈良県北東部に所在する岡寺、室生寺、長谷寺、安倍文殊院の四寺は、いずれも7~8世紀に創建された古刹で、きわめて魅力に富んだ仏像を伝えています。これらの寺の国宝4件、重要文化財9件を含む名品を展示しています。          尚、本館の常設展の仏像他も鑑賞致します。          鑑賞後は、希望者で平成館の三国志展、又は東洋館を鑑賞も選択肢です。</p>			
<b>見所</b>				
<p>岡寺、室生寺(女人高野)、長谷寺(花の寺・こもくりの初瀬)、安部文殊院の四寺は、奈良市内から南へ車で凡そ1時間、奈良県北東部に点在している。この土地は、飛鳥時代には政治の中心地であり、「国中」と呼ばれてきた。</p> <p>○岡寺          古代政治の舞台、石舞台古墳などの多くの史跡を見下す高台に在る。飛鳥から奈良時代にかけて活躍した高僧、義淵僧正により開かれたとされる。          ・国宝：義淵僧正坐像 奈良時代8世紀作。</p> <p>○室生寺 室生川の清流に面した、急激な山の斜面に佇む真言宗室生寺派本山。          ・国宝：十一面観音菩薩立像 平安時代9~10世紀作。(展示室入口の写真)          ・国宝：釈迦如来坐像 平安時代9世紀作。</p> <p>○長谷寺          豊山派総本山。八世紀初頭巨木から造られた本尊十一面観音立像で知られる。          ・重文：十一面観音菩薩立像 鎌倉時代13世紀作。</p> <p>○安部文殊院          国宝文殊菩薩騎獅像(快慶作)で知られるが出展されていない。          ・国宝：仏頂尊勝陀羅尼・文殊真言など 上記文殊菩薩像の像内から発見された経巻。鎌倉時代承久二年(1220)僧明遍が書写したもの。</p>				



【奈良大和四寺のみほとけ】展入口



東京国立博物館の表慶館前で